

み

ん

な

の

文

芸

中田國太郎選

投稿数17首

引間豊作選

投稿数24句

神苑の桜散り込む池に亀

(評)この地方ですぐに思い当る場所となると宝登山神社の境内の心字池。中心には灯篭を持った灯籠が設置され、大きな鯉が回遊しており、凧々に幾匹もの亀が首だけ水面に出し、浮き雲を眺めている。その岸に「伊奈桜」なる名称の二本が、往時武藏国丸山城主伊奈備前守忠次の献木を初祖としている。樹が枝を伸ばし、毎年その季節が巡つて来ると、一陣の風に満開の花片が散り吹雪き、静なる亀と、動なる花片の織り成す調和に幽玄なる世界を現出する。

無意識に毛糸を編める母卒寿

離れ住む孫の雛さま飾りけり

下日野沢 江野 鑑子

皆野 新井 茂

野の霞むゆえの視力と思ひたく

離かざる孫の手老いの手の中に

踏台に可愛いくつや犬ふぐり

金崎 設樂 武子

下田野 中田 久恵

古井戸や梅花うつして水鏡

三沢 鈴木 キク

三沢 橋田 龍雲

「ありがと」と逝きたる母よ白椿

下日野沢 植木 豊子

忘れるし昔富山の風邪葉

カテーテル春光眩し窓越しに

下日野沢 浅見 好一

三沢 山口とき子

風光る声弾ませて下校かな

刻癒す己れ芽吹や腕時計

皆野 大沼シヅ子

三沢 横田ハルジ

鉄塔の下に広がる集落に電灯ともらぬ家ひとつふえ

上日野沢 四方田利男

(評)秩父盆地に点在する山里は、高齢化や後継者不足によって次第に崩壊していくのが現状である。これも山里では生き

て行くのが難しいという厳しい現実があるからである。この過疎化を、電線の鉄塔の下に広がる集落に、また電灯がともらない家が増えると描写している作者の表現力は秀逸である。家族の温もりの消えた黒い家の影に侘しきが漂つ。か

ての山村を詠んだ高橋莊吉の歌「山畑は耕されたる畠ならび三年桑のよく育ちけり」新井作、農日記に母を偲ぶ優しさが溢れる。金子作、息子の想いやりの心優し。愛子作、故人を偲び送る日本人のやさしい心根に世界の人々が共感した傑作。

黒板に母の残せし農日記在りし日のまま消さず置きたり

皆野 新井 民子

休日の寸暇を惜しみ両親の布団干す息子に至福の極

皆野 金子善次郎

S Lも澄む荒川を見おろして新設道路は狭間縫いやく

皆野 愛子

グラントでゴルフに興ずる声聞きつ傘寿現役われ土耕す

皆野 芳男

厳肅な悲しみ深き「おくりびと」アカデミー賞受賞の快挙

皆野 茂

東の間の陽差しを浴びし干し物に心温もる今日は啓蟄

皆野 金崎

花こぶし白じら搖るるその果てに武甲の嶺は碧く暮れたり

皆野 山田

朝食後薄切りりんごで食す吾飴と落ちしを左手キャッチす

皆野 三沢

下日野沢 浅見 豊子

千代葉子

水と緑のふれあい館 4月から9月は 午後8時まで

4月から9月までの間は、
1時間延長して午後8時まで
(入館は午後7時30分まで)
利用できます。

ぜひご利用ください。

入館料 1日500円

問合せ 水と緑のふれあい館
大字下日野沢3993-3
☎62-5227



金沢 青木富佐子

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
総務課へお寄せください。
1人1句、1首に限ります。

8日必着

このみ
好海ちゃん



上原区

太幡 隆一さん
元子さん

パパは、このみにメロメロな
親バカです。パパ好みのママ
のような女の子になってね。



根岸区

山田 和彦さん
浩子さん

お姉ちゃんと仲良く、
すくすくと育ってね。

紗里奈ちゃん

※満1歳の赤ちゃんを募集します。5月号の締め切りは、4月10日(金)まで。
ホームページからも応募できます。